

## 【熊本県賞】

### 大切な水

熊本県 山都町立清和中学校

一年 藤嶋 隆之介

ぼくの家には、山水が主に使われていて、たけのこを洗ったり、くつを洗ったりそんなことに使っています。その水は、川が近くにあるので、そこに、使った水が行きます。

そして、ぼくの家の近くには、井無田高原キャンプ場があり、そこには池があります。その池の水もぬく時は、その川に行きます。

ぼくの家の水の種類は、もう一つあります。もう一つは、水道水で、水道水は、おふろの水、皿洗いにも使われています。ただ地しんがあると、水道が止まって、山水を使っています。なのでぼくの家は山水を主に使っているのです。そして、ぼくの家となり家があって、そこも山水を使っています。なので、あんまり雨が降らないと、水が必要になってきます。山水は、とちゅうで、二つのタンクにためられるので、それを使うので、ケンカみたいなのはなりません。それと、近くの川には、魚が住んでいるのでそこで魚つりなどもします。キャンプ場の池には魚はいないけれど、カエルやトンボの幼虫のヤゴなども住んでいるので、自然豊かです。しかも、ぼくの家は山水の水源の所には、きれいな水の所にしか生えないという植物も生えています。なので、水もすんでいます。ただパイプが外れてしまうと、ぼくのおばあちゃんや、ひいばあちゃんが見に行ってくれます。なので、あんまり困らないです。ただ、近くに山があるので四月五月ぐらいになると、イノシシがたけの子を食べにくるので、イノシシがパイプをはずしたりするのでたいへんです。となりの家の人は、米作りをしているので、そこも山水を使っているのです。いろいろとたいへんです。なので、水のありがたみをかんじられます。ぼくの家は、夏になると、水遊びをしますなのでそこで大量の水を使うけれど、水がこなくなったりしません。

ぼくは、五年生のころ、水の学校というのをしました。そこで、水質のけん査をして、近くの川を調べました。そのけん査のけっかは、きれいな方でした。それにくわえ、牛乳も調べたけれど、きたない方だったので、この川がきれいだとわかりました。

今までのけいけんなどをふり返って、ぼくは、たくさんのおかきであんしんして水を使っている。飲んでいるというありがたみをあらためてかんじました。なので、将来のことは、わからないけれど、もし、大きくなったらこの家にすんで、としをとっていつてたら、次は、ぼくが、山水がおるパイプが外れたりしたらなおしに行かないやいけない。それに、この家の水のことなどを教えていこうと思いましたが。しかも、水が少なくなったりしたら、手を洗う時は、水を出さばなしにしたいや、皿を洗う時は、なにかにためて洗うことなどを、教えたり、今は、しつかり心がけておこうと思えます。なので、今からも、水を大切にしていこうと思えます。